



平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月29日

上場会社名 テクノアルファ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3089 URL http://www.technoalpha.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島勉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室 (氏名) 安積良典 (TEL) (03) 3492-7421
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績 (平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	454	△40.1	△25	—	8	△95.5	△2	—
24年11月期第1四半期	758	42.4	78	—	181	—	75	—

(注) 包括利益 25年11月期第1四半期 48百万円(△51.8%) 24年11月期第1四半期 101百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	△1.15	—
24年11月期第1四半期	35.20	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、平成24年11月期第1四半期においては、潜在株式が存在しないため、平成25年11月期第1四半期においては、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第1四半期	2,008	1,622	80.8
24年11月期	2,228	1,631	73.2

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 1,622百万円 24年11月期 1,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	27.00	27.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想 (平成24年12月1日～平成25年11月30日)

平成25年11月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期1Q	2,316,000株	24年11月期	2,316,000株
② 期末自己株式数	25年11月期1Q	200,110株	24年11月期	200,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期1Q	2,115,890株	24年11月期1Q	2,140,381株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
5. 補足情報	13
仕入、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国景気の減速懸念や欧州における財政不安に加え、中国などの新興国での成長鈍化など、世界経済全体に先行き不透明な状況が続いております。一方、日本経済においては、昨年末からの円安株高の傾向から、景気回復への期待が高まっており、実体経済においても、回復に向かい始めたといえます。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、主要顧客である自動車メーカー及びその関連メーカーにおいて、好調な自動車販売に支えられ、堅調であったものの、産業用機器メーカー向けの販売が低調でありました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は454,609千円（前年同四半期比40.1%減）、営業損失は25,694千円（前年同四半期は78,320千円の営業利益）、経常利益は8,170千円（前年同四半期比95.5%減）、四半期純損失は2,448千円（前年同四半期は75,346千円の四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分によっております。

①エレクトロニクス事業

当事業においては、従来、半導体装置事業が営んでおりました当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を海外より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。さらに、電子材料・機器事業が営んでおりましたエレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、主要顧客である自動車メーカー及びその関連メーカーにおいて、好調な自動車販売に支えられ、堅調であったものの、産業用機器メーカー向けの販売が低調でありました。この結果、売上高は277,424千円（前年同四半期比45.1%減）、営業損失は4,886千円（前年同四半期は82,448千円の営業利益）となりました。

②マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。マリン事業については、前連結会計年度以前より受注した案件が予定どおりに売上げましたが、環境機器事業については、第2四半期以降に受注を見込んでおり、当第1四半期連結累計期間においては低調に推移いたしました。この結果、売上高は56,062千円（前年同四半期比25.5%減）、営業利益は5,592千円（前年同四半期は13,354千円の営業損失）となりました。

③S I 事業

当事業においては、連結子会社である株式会社ペリテックが、計測・検査システムを顧客から受託し、自社でハードウェア技術とソフトウェア技術を融合した計測・検査システムに仕上げ、顧客に販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、第2四半期に大型案件の検収を控えており、当第1四半期連結累計期間においては低調に推移いたしました。この結果、売上高は121,121千円（前年同四半期比32.0%減）、営業利益は8,013千円（前年同四半期比78.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,008,781千円（前連結会計年度末比219,501千円の減少）となりました。これは主に、受取手形の減少44,713千円、売掛金の減少103,914千円及び投資その他の資産の減少78,746千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,622,789千円（前連結会計年度末比8,474千円の減少）となりました。これは主に、四半期純損失2,448千円の計上及び配当金の支払57,129千円が行われた一方で、その他有価証券評価差額金12,056千円が増加し、繰延ヘッジ損益が39,046千円増加したことによるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は80.8%（前連結会計年度末比7.6ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	465,092	276,926
受取手形	77,886	33,172
売掛金	579,229	475,315
有価証券	20,004	19,999
商品	260,884	241,408
仕掛品	116,204	149,627
その他	67,739	258,940
貸倒引当金	△289	—
流動資産合計	1,586,751	1,455,390
固定資産		
有形固定資産	191,987	189,151
無形固定資産		
のれん	80,123	74,533
その他	10,970	10,002
無形固定資産合計	91,093	84,535
投資その他の資産		
投資有価証券	269,088	194,129
その他	89,362	85,574
投資その他の資産合計	358,450	279,703
固定資産合計	641,531	553,390
資産合計	2,228,282	2,008,781
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,786	146,820
1年内返済予定の長期借入金	7,284	—
未払法人税等	49,946	6,709
賞与引当金	5,600	10,333
前受金	18,005	24,372
その他	73,633	85,059
流動負債合計	451,255	273,295
固定負債		
長期借入金	34,968	—
退職給付引当金	35,436	35,936
役員退職慰労引当金	61,397	63,469
資産除去債務	2,888	2,890
その他	11,072	10,399
固定負債合計	145,763	112,696
負債合計	597,019	385,991

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,556,550	1,496,973
自己株式	△142,826	△142,826
株主資本合計	1,635,580	1,576,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,507	5,548
繰延ヘッジ損益	2,190	41,237
その他の包括利益累計額合計	△4,316	46,785
純資産合計	1,631,263	1,622,789
負債純資産合計	2,228,282	2,008,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	758,691	454,609
売上原価	488,403	300,781
売上総利益	270,287	153,828
販売費及び一般管理費	191,967	179,522
営業利益又は営業損失(△)	78,320	△25,694
営業外収益		
受取利息	746	2,885
受取配当金	632	365
投資有価証券売却益	—	15,859
為替差益	—	12,780
保険返戻金	106,100	1,960
その他	339	468
営業外収益合計	107,818	34,319
営業外費用		
支払利息	248	156
支払手数料	1,431	294
投資有価証券売却損	36	—
為替差損	3,392	—
その他	0	4
営業外費用合計	5,109	454
経常利益	181,029	8,170
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,006
役員退職慰労金	44,859	—
特別損失合計	44,859	3,006
税金等調整前四半期純利益	136,170	5,163
法人税、住民税及び事業税	17,548	6,907
法人税等調整額	43,275	704
法人税等合計	60,823	7,612
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	75,346	△2,448
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,346	△2,448

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	75,346	△2,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,704	12,056
繰延ヘッジ損益	13,956	39,046
その他の包括利益合計	25,660	51,102
四半期包括利益	101,007	48,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,007	48,654
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 事業	マリン・環境機器 事業	S I 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	505,383	75,289	178,017	758,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	494	494
計	505,383	75,289	178,511	759,185
セグメント利益又は損失（△）	82,448	△13,354	37,285	106,378

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	106,378
全社費用（注）	△28,058
四半期連結損益計算書の営業利益	78,320

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	277,424	56,062	121,121	454,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	11,231	11,231
計	277,424	56,062	132,353	465,841
セグメント利益又は損失（△）	△4,886	5,592	8,013	8,719

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,719
全社費用（注）	△34,413
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△25,694

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「半導体装置事業」及び「電子材料・機器事業」に区分していた報告セグメントについては、「半導体装置事業」及び「電子材料・機器事業」のシナジー効果を高め、収益性の向上と事業の効率化を図ることを目的として、組織変更を実施したことに伴い、報告セグメント区分の変更を行い、当第1四半期連結会計期間より「エレクトロニクス事業」に集約して開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

5. 補足情報

仕入、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	141,193	△53.2
マリン・環境機器事業	30,926	△53.5
S I 事業	—	—
合計	172,120	△53.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	270,773	△29.2	210,097	+18.3
マリン・環境機器事業	29,999	△65.5	396,920	+14.6
S I 事業	184,247	+54.7	253,452	+102.8
合計	485,020	△18.2	860,470	+32.5

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	277,424	△45.1
マリン・環境機器事業	56,062	△25.5
S I 事業	121,121	△32.1
合計	454,609	△40.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。